

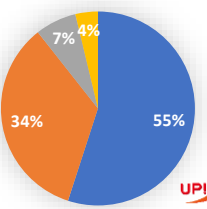
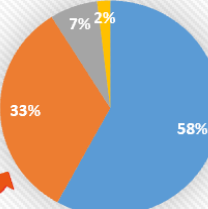
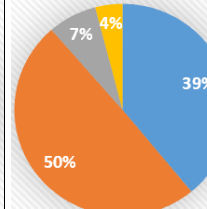
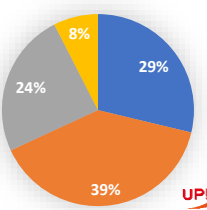
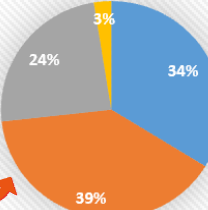
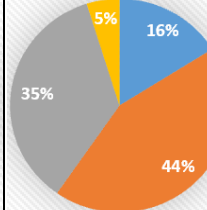
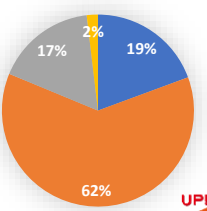
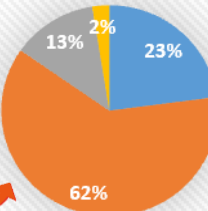
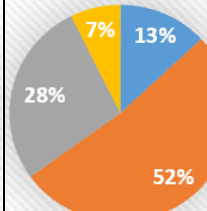
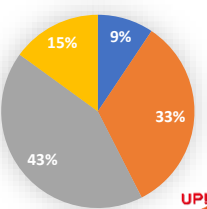
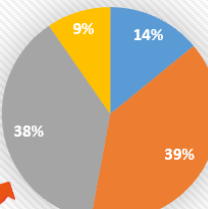
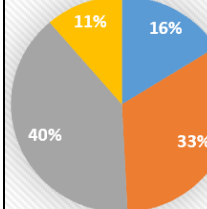
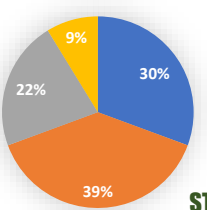
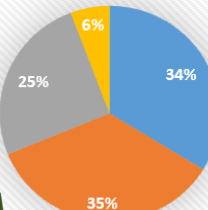
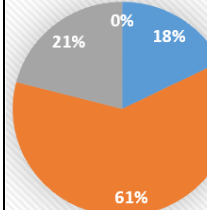
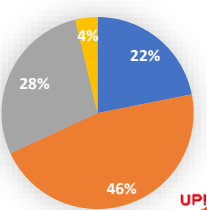
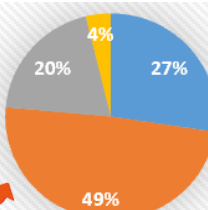
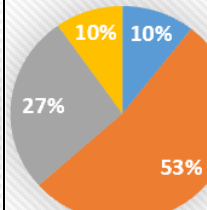
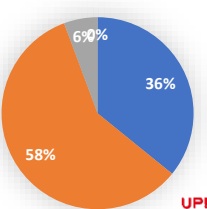
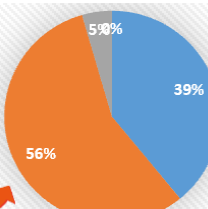
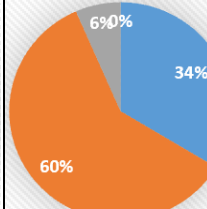
学校評価アンケート【前期】

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果をご覧ください。
今回の結果を踏まえ、今後の教育活動に活かしてまいります。引き続き、本校教育活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【令和6年度 学校評価アンケート前期】

- 令和6年7月実施。Microsoft Formsを活用したオンライン回答。
○ 「出来ている」「大体出来ている」「あまり出来ていない」「出来ていない」から選択。

■ 出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない

		生徒		保護者	
		R5前期	R6前期	R6前期	【結果より考察①】
1	学校生活を楽しいと感じている。				☆肯定的回答の前年度との比較 全15項目のアンケートにおいて、「出来ている」「大体出来ている」という肯定的回答が令和5年度前期の回答との比較で、12項目において肯定的回答の割合が増えています。 肯定的回答の割合が大きく増加した項目は『4. 家庭で学習する習慣が身についている。』《11%増》、『6. グループ活動や読書、ICT活用など、多様な学びの機会を使用して考えを深めていると思う。』《8%増》です。 項目4については昨年度唯一肯定的意見が50%を下回っていた項目ですが、項目4、6の肯定的回答が増えていることから、生徒自身が自身のキャリア形成において学ぶことの大切さを意識し始めていることが考えられます。しかしながら、項目4の肯定的回答は他の項目に比べると低い現状です。 今後も授業改善だけでなく、学校から与える課題の質や量についても再度検討しながら、考えを深めてキャリア形成に係る学びの機会を充実させる必要があると考えます。
2	将来の夢や、進路・自分の目標について考えている。				
3	授業で提示される本時の目標（教科のその時間の目標）を達成していると思う。				
4	家庭で学習する習慣が身についている。				
5	良いところがある。/良いところを伝えている。				
6	グループ活動や読書、ICT活用など、多様な学びの機会を使用して考えを深めていると思う。				
7	学校や社会のルールを守っている。				

8	相手の気持ちを考え、仲間と協力して活動している。		【結果より考察②】 ☆肯定的回答80%以上…設問1・3・7・8・9・10・11・14。 昨年度も上記項目については肯定的回答が多い状況でしたが、『10. 正しい言葉づかいで話している。』≪7%増≫、『14. 自分のことを話したり、相談したりしている。』≪5%増≫については今年度から肯定的回答が80%以上となりました。 項目10については、春から「公共心を高める」という話を繰り返し伝える中で、その大切さに気づき具体的にできることから実践している生徒が増えていことが伺えます。 項目14については、今後も生徒と教職員間の授業や学級活動だけではなく部活動を含めたすべての教育活動の中でコミュニケーションの充実を目指し、教育相談やミーティング、アンケートの活用をさらに図ることで、一人で抱え込まずに相談できる体制を学校として構築してまいります。 保護者の皆様におかれましても、担任だけでなく、学年の教員、学年主任や教務主任、養護教諭やスクールカウンセラーなど、相談しやすい相手を見つけ、相談してほしいと思います。生徒のために何ができるのか、共に考え、共に行動できればと思っています。
9	学校や地域であいさつをしている。		
10	正しい言葉づかいで話している。		
11	いじめ・いたずら・いやがらせを許さない姿勢を持ち続けている。		
12	「早寝・早起き・朝ごはん」を実践している。		
13	日頃から身体を動かし、心と身体の健康に取り組んでいる。		
14	自分のことを話したり、相談したりしている。		
15	学校・学年・学級などのおたよりを見せしている。		